

過去の研修情報

H22度(2010年度)開催研修会

		開催日	場所	参加者
第10回 京都府地域リハビリテーション研修会	<p>地域連携バスと回復期リハビリテーション病棟の役割～急性期から在宅・生活期(維持期)まで～ 京都武田病院リハビリテーション科部長 柴田 勝博 先生</p> <p>パネルディスカッション「地域連携バスと連携の実際～脳卒中を主に～」 座長 中丹圏域地域リハビリテーション支援センター 舞鶴赤十字病院 小幡 彰一 先生</p> <p>報告1「脳卒中診療における急性期病院の役割と問題点」 独立行政法人 国立病院機構 舞鶴医療センター 医師 吉岡 亮 先生</p> <p>報告2「回復期リハビリテーション病棟～地域連携バスの現状と課題」 財団法人丹後中央病院 理学療法士 東 小百合 先生</p> <p>報告3「リハビリテーションを通じ情報の提供・連携」 ～急性期病院、回復期リハビリテーション病棟、老人保健施設を経て 自宅に帰られた脳出血後の利用者への連携を通じて～ 綾部市医療公社 訪問看護ステーション ケアマネージャー 山口 万紀 先生</p>	6月12日(土)	舞鶴市 西駅交流センター ホール	75名
第11回 京都府地域リハビリテーション研修会	<p>京都府の地域連携バスの現状とその効用 今後活用していくために 京都大原記念病院 病院長 垣田 清人 先生</p> <p>パネル討論 「脳卒中地域連携バスの運用と連携の課題～連携ツールの活用を通じて～」 座長 公立山城病院 リハビリテーション科 課長 岡村 孝文 先生</p> <p>報告「急性期病院の立場から地域連携バスの運用の現状と課題」 公立山城病院 脳神経外科 部長 岩本 芳浩 先生</p> <p>報告「連携病院としての役割 ～現状と課題について～」 第二岡本総合病院 リハ科 技師長 田後 裕之 先生</p> <p>報告「地域連携バスが導入されるにあたり ～ケアマネージャーとしての期待と要望～」 コマダ診療所 介護支援専門員 古川 節子 先生</p>	7月17日(土)	京都府山城南保健所 講堂	81名
第6回 京都府リハビリテーション専門職研修会 「急性期病院におけるリハビリテーション 急性期リハビリテーションに求められていること」	<p>「和歌山県立医科大学附属病院における徹底した早期リハビリテーション」 和歌山県立医科大学リハビリテーション科 医師 幸田 剣 先生</p> <p>「急性期のリハビリテーションーセラピストの立場からー」 大阪厚生年金病院リハビリテーション科 竹下 正弘 先生</p> <p>指定発言 「当院における急性期リハビリテーションの取り組み」 京都民医連中央病院 リハビリテーション療法課 夜久 賢治 先生</p>	10月16日(土)	京都府立医科大学附属 図書館合同講義棟 (図書館ホール)	81名
第2回 総合リハビリテーションセミナー 「障害者の自立支援とリハビリテーションを考える」	<p>「障害者支援の現状 ～こども発達支援センター・発達障害者支援センターの役割～」 京都府立こども発達支援センター 所長 衣笠 昭彦 先生</p> <p>追加発言 セラピストの立場から、こども発達支援センターの役割について 京都府立こども発達支援センター 理学療法士 青木 のり子 先生</p> <p>「障害者地域生活支援センターの役割と地域支援」 京都市北部障害者地域生活支援センター「きらリンク」センター長 土屋 健弘 先生</p> <p>「京都府の障害者施策の現状と今後の動向」 京都府健康福祉部 障害者支援課 副課長 金森 正明</p>	2011年 3月5日(土)	京都府立医科大学附属 図書館合同講義棟	84名